



2008年10月20日

【プレスリリース】

LA オートショーで第 5 回デザイン・チャレンジ応募作を公開 2025 年のレーシングカーをデザイン

各自動車メーカーのデザイン・スタジオが独創性を競う

2008年11月19日から開催されるロサンゼルス(LA)オートショーにおけるメインイベントのひとつ、第5回デザイン・チャレンジ賞への応募9作品が本日公開されました。

デザイン・チャレンジ賞とは、デザイン・ロサンゼルス・自動車デザイナー協議会の活動の一環として実施されているデザイン・コンペティションで、世界の自動車メーカーのデザイン・スタジオが未来の自動車デザインの独創性を競い合う場になっています。同賞は今年で5回目を数え、LA オートショーには欠かすことのできないイベントとなっています。

今回は、「2025年のレーシングカー」をテーマに、南カリフォルニアにデザイン・スタジオを持つ大手自動車メーカー9社(アウディ、BMW、GM、ホンダ、マツダ、三菱、メルセデスベンツ、トヨタ、フォルクスワーゲン)が17年後(2025年)のレーシングカーの未来像をデザインしそれぞれの創造性を競っています。第5回デザイン・チャレンジ賞の受賞車はLAオートショー・プレスデー最終日(11月20日)に、LAオートショーの会場で発表されます。

今年のデザイン・チャレンジ『2025年のレーシングカーをデザインする』の応募作は以下の9作品です。

- アウディ・オヴ・アメリカ (デザイン・センター・カリフォルニア): **Audi R25(アウディ R25)**は急斜面やトンネルの側面を使った新たなレース・コースを走行するために設計されたレーシングカーです。この超高速環境のなか、真横又は逆さになった状態での追い越しを可能にして、カーレースに変革を起こします。
- BMW グループ (デザイン・ワークス USA): **BMW Hydrogen Powered Salt Flat Racer(塩類平原向け水素エンジンレーサー)**は石油ドラム缶やバーベキュー台の蓋など、廃材を再利用した、リサイクル可能なレーシングカーです。排出物がクリーンであることは金魚が助手席に座っていることでも明らかです。

- ゼネラルモーターズ・アドバンスデザイン: **GM Chaparral Volt (チャパラル・ヴォルト)**はカリフォルニアの広大な自然に豊富に存在するクリーンで無尽蔵な三つのエネルギー(アース:土、ウィンド:風、ファイアー:陽)を推進力の源としています。この環境にやさしい新しいレースカテゴリーを「エコ・トライアスロン」と呼びます。
- ホンダ R&D ノースアメリカ: **Great Race 2025 (グレート・レース 2025)**は世界の陸、海、空を走破し、24 時間以内に地球を一周します。ソナーや反響定位技術により、速度、地形、標高を測定・分析、常に最適なモードでの走行が可能です。
- マツダ R&D ノースアメリカ: **MAZDA KAN (マツダ 運)**は特許の電子タイヤシステムを用いた電気レーシングカーです。時速 250mph を発揮しながらも、排出される有害物はゼロです。1 チーム 30 台の構成で走り、スリップストリームを利用してパワーを節約します。
- 三菱 リサーチ & デザイン ノースアメリカ: **MMR25** の車輪には 8 つの独立したモーターが搭載され、どんな地形にも対応でき、全方向に操舵できる「8x4」レーシングカー。
- メルセデスベンツ・アドバンス・デザイン・オヴ・ノースアメリカ: **Formula Zero Racer (フォーミュラ・ゼロ・レーサー)**は F1 レースのスリル感、ボブスレーのダイナミック感、そして、優雅で環境効率のいいヨットレースの特徴を取り入れ、豪華なレースを実現します。
- トヨタ カルティ・デザイン リサーチ: **Toyota Le Mans Racer (ルマン・レーサー)**は給油を不要とする究極のレーシングカーです。非常に効率的な水素燃料電子モーターを搭載し、必要に応じて車体の外側に組み込まれているソーラーパネルで発電される電気を追加エネルギー源とします。
- フォルクスワーゲン・オヴ・アメリカ・デザインセンター: **Bio Runner (バイオ・ランナー)**のドライバーはロールケージに囲まれたオートパイのような運転席に座り、手足には操縦装置が装着されます。全ての車輪は操縦装置と繋がった人工筋肉サスペンションを通じて操作され、今までにないコントロールとトラクションが実現します。

今回の審査員は、アカデミー・オヴ・アート大学(サンフランシスコ)のトム・マタノ氏、クリエイティブ・スタデイズ大学(デトロイト)のイムレ・モルナー氏、アート・センター・デザイン大学(パサディナ)のスチュアート・リード氏の 3 名と、特別審査員のコスミック・モーターズ社創業者、ダニエル・サイモン氏の計 4 名です。

また、上記の応募作の画像(ダウンロード可)及びデザイン・チャレンジの詳細は、下記のリンクにてご案内しておりますのでご覧ください。

<http://www.laautoshow.com/DesignChallenge.html>

デザイン・チャレンジについて

デザイン・ロサンゼルス・自動車デザイナー協議会の活動の一環として実施されているデザイン・コンペティション。今年で5回目を数え、LAオートショーに欠かすことのできないイベントとなっています。世界の自動車メーカーのデザイン・スタジオが独自の創造性を競い合うコンペティションとして、世界中の記者やメディアの注目を集めています。

LAオートショーについて

LAオートショーには100年の歴史がありますが、秋の開催となってからは今年で3回目となります。今回のプレスデーは11月19日(水)～20日(木)、一般公開日は21日(金)～30日(日)の10日間となります。LAオートショーでは、LAという環境問題に関心が高い都市で開催されていること、そして自動車メーカー各社がデザイン・スタジオを設置している地域性もあり、デザインや環境に配慮した最新技術にフォーカスしています。

プレスパスの登録手続きは、10月31日までです。プレスパス登録やショーの詳細は、www.LAautoshow.comにてご案内しておりますのでご覧ください。また、LAオートショーに関する様々な情報はプレスリリースでも、順次提供してまいります。

LAオートショーでの現地サポート

LAオートショーの日本におけるPR代理店であるフライシュマン・ヒラード・ジャパンのダグラス・フットが、11月19日、20日の2日間、オートショー会場において、日本から取材にいらっしゃるジャーナリストの皆様に、下記サポートをさせていただきます。

- LAオートショー関係者、デザイン・チャレンジ関係者などへのインタビューのアレンジ
- 英語／日本語の通訳
- 日本語のプレスリリース配布、その他

サポートを希望される場合は、事前に下記までご連絡いただければ幸いです。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先:

フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社

東京都中央区築地 6-19-20

ニチレイ東銀座ビル7F 〒104-0045

ダグラス・フット 03-3524-4622 / douglas.foote@fleishman.com

山崎雅之 03-3524-4610 / masayuki.yamazaki@fleishman.com